

平成29年度 第4回大和市障がい者福祉計画審議会 会議録（要旨）

会議名	平成29年度 第4回大和市障がい者福祉計画審議会		
開催日時	平成30年3月6日（火）午後2時～午後3時		
開催場所	大和市保健福祉センター5階 501会議室		
出席状況	委員	9人（関水会長、横川委員、佐藤委員、内藤委員、春日委員、久保田委員、重松委員、鳥海委員、田所委員）	
	事務局	8人（障がい福祉課長、障がい福祉課係長2名、障がい福祉担当職員2名、すくすく子育て課長、すくすく子育て課係長1名、すくすく子育て課発達支援担当職員1名）	
	傍聴人	0人	
担当課	障がい福祉課障がい福祉担当 内線（5665）		
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開		

1. 会議次第

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 議題
 - ①障がい福祉計画・障がい児福祉計画案について
 - ②答申について
- (4) その他
事務連絡

2. 審議又は検討経過及び結果 主な内容は次のとおり

【議題①障がい福祉計画・障がい児福祉計画案について、事務局より説明】

●委員

資料編にある精神障がい者の人数について、どのように算出しているのか。

○事務局

精神障がい者の人数については、精神障害者保健福祉手帳所持者数と、自立支援医療（精神通院）受給者数の2通りの数字を載せている。

●委員

資料編にある障がい児の特別支援学級の生徒数について、小学校における生徒数と中学校における生徒数が大きく減少している。中学校から特別支援学校へ通うなど減少する理由は推測できるが、記載しないとわかりにくいのか。

○事務局

減少の理由は、小学校は6学年、中学校は3学年という点が大きい。確かに、中学校から特別支援学校に通うことや、特別支援学級から普通級に移ることで減少することもある。一方で、普通級から特別支援学級に移ることもあるなど、学年数以外に特定の傾向があるわけではないので、ここでは理由を記載していない。

●委員

特別支援学校に通う人数は載せないのか。

○事務局

人数の推移など、本市の状況を見るときに、支援学級の動向も参考になることから、市内の特別支援学級の生徒数を載せている。

【議題②答申について、会長より説明。】

事前に作成した答申書案に異議が無かったため、答申書として採用することを決定。会長より答申書が読み上げられ、市長に代わり障がい福祉課長が受け取る。

《これ以降、特に意見等無し。》

審議終了

事務連絡として、次回開催は6月を予定していること、委員の任期について、を事務局から報告。

以上